

IV 保 健 予 防 課

1 感染症対策

感染症法に基づく発生届の受理時や集団発生時に、積極的疫学調査や保健指導を実施し、感染症のまん延防止に努めました。また、管内の関係機関と連携し、感染症のまん延防止及び迅速かつ適切な対応がとれるよう、地域全体の感染症対策の推進を図ることを目的に対策連絡会議を開催しました。

また、蚊媒介感染症対策の一環として、蚊の生息調査を実施しました。

2 結核予防対策

感染症法に基づき、結核患者及びその家族等に対する保健指導を行うとともに、医療機関、薬局等と連携して、患者が治療を完遂できるよう服薬支援を実施しました。

また、患者家族等の接触者に対し、健康診断を実施し、結核の早期発見・まん延防止に努めました。

3 エイズ予防・性感染症予防対策

エイズ相談検査を実施するとともに、青少年を対象にエイズ・性感染症の正しい知識を普及するための講演会、パンフレットの配布等の予防啓発事業を実施しました。

また、秋のレッドリボン月間（世界エイズデー）に小田原合同庁舎1階において、エイズ予防啓発パンフレットの掲示、予防啓発グッズの配架・配布を実施しました。

4 難病対策

難病患者への医療援護事務を行うとともに、難病対策地域協議会を開催しました。また、難病患者地域支援ネットワーク事業として、在宅療養者支援計画策定・評価事業、講演会、つどい、訪問相談事業等を実施しました。

医療依存度の高い神経難病等患者及び介護者の療養支援を目的とする在宅難病患者緊急一時入院の利用にあたって、申請受付を行うとともに療養相談を行いました。

また、地域の人材育成として、在宅難病患者保健福祉従事者等研修を実施しました。

5 肝疾患対策

ウイルス性肝炎の早期発見と二次感染予防のため検査を実施しました。

また、B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療やC型ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療の実施に対する医療援護事務を行いました。

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、健康手帳等の申請等に係わる経由事務及び健康診断を実施しました。

7 骨髄ドナー登録

白血病等の血液難病患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、登録受付を行いました。

8 認知症疾患対策

認知症疾患相談事業として、専門医・保健師等による相談・訪問指導を実施し、適正な診断・治療を受けるための指導、療養生活支援、家族に対する保健指導を行いました。若年性認知症対策として若年性認知症シンポジウムを開催し、普及啓発を行いました。

9 精神保健福祉対策

精神疾患の早期発見・早期治療を図るため、専門医・福祉職・保健師による相談・訪問を行いました。管内居住の全措置入院者に対して、入院中から関わり、安心して退院後も地域で生活を送れるように支援しました。また、関係機関や団体との連携を図るため、会議を開催するとともに関係団体への支援を実施しました。

自殺防止対策として関係機関との連絡会議及びゲートキーパー養成講座、管内の中学校・高校の教員・生徒向けに出前講座への協力を実施しました。

また、長期入院患者の地域移行・地域定着支援を進めるため、精神保健福祉センターの「地域につなげようプロジェクト」のモデル地域（県西障害保健福祉圏域）として、平成 28 年度より会議や部会に参加し、実態調査等実施しました。

平成 29 年度は精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業のモデル地区にも指定され、国が派遣する広域アドバイザーによる研修会等を開催しました。

1 感染症対策

(1) 感染症発生状況

	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	接触者検便延数	備考
総数					
1類感染症					
2類感染症					
3類感染症	11	9	2		腸管出血性大腸菌感染症 11
4類感染症	5	5			レジオネラ症 4 つつが虫病 1
5類感染症	17	15	2		アメーバ赤痢 3 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 8 クロイツフェルト・ヤコブ病 1 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 梅毒 4

※2類感染症は結核を除く数

※5類感染症は全数把握のみ

(2) 通報等に伴う調査

	通報件数	調査者数	患者・保菌者数	行政検便延件数
総数	7	7		
検疫所からの通報				
県域外等からの通報	7	7		

(3) 集団かぜによる学級閉鎖・学年閉鎖状況

	平成29年度			平成28年度		
	施設数(実)	施設数(延)	欠席者数	施設数(実)	施設数(延)	欠席者数
総数	19	34	331	21	35	313
幼稚園	2	2	20	1	1	4
小学校	13	26	262	16	25	231
中学校				1	3	38
高等学校	3	5	48	2	4	35
特別支援学校	1	1	1	1	2	5

(4) 社会福祉施設等における感染症報告に伴う報告・相談状況

疾患名	施設種別	件数
インフルエンザ	高齢者施設	15
	障害者施設	なし
	医療機関	なし
感染性胃腸炎		なし
		15

(5) 感染症対策連絡会議

開催日	内容	参加者
H29. 6. 12	① 管内の感染症発生動向について ② 近年の感染症トピックスについて ③ 蚊媒介感染症・蚊の生息調査について ④ 連絡網について	17名 小田原医師会 小田原市立病院 市町消防本部 市町健康担当課 当所

(6) 蚊の生息調査 (於：小田原市上府中公園 方法：CO2 トラップによる調査)

	H29. 6. 23 ～24	H29. 7. 21 ～22	H29. 8. 18 ～19	H29. 9. 22 ～23	H29. 10. 20 ～21	総計
総計	57	30	75	25	18	205
遊歩道休憩所	21	10	35	10	3	79
野球場東	36	20	40	15	15	126
(再掲)遊歩道休憩所	21	10	35	10	3	79
ヒトスジシマカ(雌)	10	4	18	4		36
アカイエカ群(雌)	11	4	9	6	3	33
その他		2	8			10
(再掲)野球場東	36	20	40	15	15	126
ヒトスジシマカ(雌)	1	1	12	3		17
アカイエカ群(雌)	31	16	11	10	12	80
その他	4	3	17	2	3	29

ウイルス検査は、全て不検出
デングウイルス・ジカウイルス・日本脳炎ウイルス
ウエストナイルウイルス・チクングニアウイルス

(7) 感染症研修会

開催日	対象	テーマ	講師	会場	参加者数
H29. 5. 30 H29. 5. 31	当所職員	防護服の着脱訓練	当所 保健師	小田原福祉事務所	26
H29. 10. 12	介護保険事業所職員	施設における感染症対策について ～平時の対応と発生時の迅速な対応～	当所 医師・保健師	小田原合同庁舎	25
H29. 12. 13	大学医学生	感染症について	当所 保健師	小田原福祉事務所	10
H30. 1. 11	医療機関の 医師・薬剤師・検査技師・感染症担当看護師	薬剤耐性 (AMR) 対策研修会	衛生研究所 所長	小田原合同庁舎	35

(8) 個別保健指導

方法	訪問	面接	電話	文書・メール	計
件数	20	10	362		392

(9) 手洗いチェッカーの貸出

事業所区分	社会福祉協議会	介護保険事業所
件数	1	4

2 結核予防対策

(1) 感染症診査協議会結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告の診査等のため、定例的（第2・4水曜日）に開催するとともに必要に応じ臨時開催しました。

ア 開催状況

	定例開催	臨時開催	計
開催回数	24	14	38

イ 診査の状況

区分	診査件数	入院勧告	入院延長	就業制限	公費負担承認	公費負担不承認	公費負担保留
法第20条	62	20	42				
法第18条 *	0						
法第37条の2	109				109		

*診査分の他、報告19件あり。

(2) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別・市町別登録患者数

(平成29年12月31日現在)

		総数	活動性結核				不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
			肺結核活動性			肺外結核活動性			
			登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他				
総数	77	7	5	2	0	38	25	31	
受療別	入院	5	4	1					
	在宅医療	16	3	4	2		7	7	
	経過観察	56					38	18	24
	不明	0							
市町別	小田原市	51	6	3	2		26	14	23
	箱根町	6		1			3	2	
	真鶴町	4					1	3	
	湯河原町	16	1	1			8	6	8

(イ) 年齢階級別登録患者数

(平成29年12月31日現在)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他				
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	77	7	5	2	0	38	25	31	
0～4歳	0							1	
5～9歳	0								
10～14歳	0								
15～19歳	0							1	
20～29歳	4		1			2	1	2	
30～39歳	7	1				2	4	4	
40～49歳	6					4	2	5	
50～59歳	7					6	1	3	
60～69歳	13	2		1		3	7	10	
70歳以上	40	4	4	1		21	10	5	

(ウ) 新登録患者数

(平成29年1月1日～12月31日)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他		
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他			
総数	27	10	7	6	4	11	
0～4歳	0						
5～9歳	0						
10～14歳	0						
15～19歳	0						
20～29歳	3	3					
30～39歳	3	1	2			2	
40～49歳	1		1			2	
50～59歳	0						
60～69歳	7	2		3	2	4	
70歳以上	13	4	4	3	2	3	

(エ) 結核患者登録率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成25年	3,692	40.7	88	36.2
平成26年	3,556	39.1	97	40.2
平成27年	3,426	37.5	72	30.2
平成28年	3,213	35.1	79	33.4
平成29年	—	—	77	32.7

(オ) 結核り患率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成25年	1,353	14.9	42	17.3
平成26年	1,329	14.6	42	17.4
平成27年	1,311	14.4	24	10.1
平成28年	1,192	13.0	40	16.9
平成29年	—	—	27	11.5

(カ) 結核有病率（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
平成25年	913	10.1	26	10.7
平成26年	937	10.3	33	13.7
平成27年	922	10.1	17	7.1
平成28年	785	8.6	30	12.7
平成29年	—	—	14	6.0

(3) 健康診断

結核感染の早期発見を目的として、接触者健診を行いました。

また、結核患者登録票を基に、必要な者に対し管理健診を実施しました。

	実人員	QFT 検査(延べ)		エックス線直接撮影 (延べ)		結果		
		当所	医療機関	当所	医療機関	患者発見	潜在性結核感染症	要経過観察
接触者健診	家族	43	54	1	2	1	3	1
	その他	72	86	2	3		2	2
管理健診	0							

(4) 保健指導

ア 実施状況

適切な医療の確保、医療中断の防止、患者の内服支援、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の保健指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導 (延べ)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
101	323	1,614	265	27	1,906

イ 保健所DOTS実施状況 (対象 46名)

	訪問	面接	電話	薬局
実人員	36	40	161	8
延べ人員	104	265	1,614	37

※電話での内服確認は、他疾患入院中等の患者に対して実施しました。

ウ 薬局DOTS実施状況

公益社団法人小田原薬剤師会と協力し、薬局において患者の内服支援を実施しました。

(ア) 登録薬局数

	平成29年度	平成28年度
登録薬局数	38	35

(イ) 薬局DOTS実施者数

	平成29年	平成28年度
実施者数	8	5

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

開催日	内容	講師	会場	参加者数
H29. 6. 15	地域における 薬局DOTSの推進 ～治療完遂を支える ために～	公益財団法人結核予防会 結核研究所対策支援部 保健看護学科 保健師 島村 珠枝氏 当所保健師	小田原市 保健 センター	86
H29. 10. 24	結核の基礎と症例から 学ぶ診療の実際	神奈川県立循環器呼吸器病 センター 呼吸器内科部長 荻原 恵里氏	神奈川県 立足柄上 病院	40

イ 施設等での普及啓発活動

対象	内容	講師	回数	参加者数
県民	ポスター等による 結核の知識、情報提供	当所保健師	1	—
当所講演会 参加者	パンフレット等による 結核の知識、情報提供	当所保健師	2	123
訪問看護師	パンフレット等による 結核の知識、情報提供	当所保健師	1	20
イベント参加者	パンフレット等による 結核の知識、情報提供	当所保健師	1	141

3 エイズ予防・性感染症予防対策

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

医師・保健師による随時相談、検査は月1回水曜日に匿名、予約制で実施しました。

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談件数	418	428	392	442	313	329	255	160	172
検査実施数	112	128	108	115	80	83	69	52	56

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
総数	0	18	17	12	6	3	56
男		11	11	12	6	3	43
女		7	6				13

(2) エイズ予防啓発事業

開催日	内 容	会 場	参加者数
H29. 4. 20	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	30
H29. 4. 25	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小澤高等看護学校	40
H29. 5. 29	地域職域協議会構成委員への エイズ検査のちらしを送付	—	32
H29. 7. 19	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小田原短期大学	165
H29. 8. 31	看護学生への 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	30
H29. 11. 16～12. 15 (秋のレッドリボン月間、 世界エイズデー)	予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	100

4 難病対策

(1) 特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数

平成26年12月31日までは56疾患の難病に対して助成を実施していましたが、平成27年1月1日より「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、現在331疾患が指定されています。

指定難病医療受給者証交付件数（平成30年3月31日現在）

※管内に患者がいる疾患のみ掲載

告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計	告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	2	1		1	4	67	多発性嚢胞腎	10	1	1	3	15
2	筋萎縮性側索硬化症	22	1		2	25	68	黄色靭帯骨化症	1	2		1	4
3	脊髄性筋萎縮症	3	1		1	5	69	後縦靭帯骨化症	56	3	1	6	66
5	進行性核上性麻痺	3				3	70	広範脊柱管狭窄症	1			3	4
6	パーキンソン病	187	15	6	37	245	71	特発性大腿骨頭壊死症	37	5	2	1	45
7	大脳皮質基底核変性症	5		2	1	8	72	下垂体性ADH分泌異常症	3			1	4
11	重症筋無力症	24	2		6	32	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3				3
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	24	2	2	6	34	75	クッシング病	1				1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多系統変性脱髄ニューロパチー	4			2	6	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	3	1	1	2	7
16	クロウ・深瀬症候群	2				2	78	下垂体前葉機能低下症	13	1		2	16
17	多系統萎縮症	20		1	3	24	83	アジソン病	1				1
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	43	5	2	6	56	84	サルコイドーシス	8	1	2	2	13
19	ライソゾーム病	3	1			4	85	特発性間質性肺炎	17	1		2	20
21	ミトコンドリア病	4			1	5	86	肺動脈性肺高血圧症	6			2	8
22	もやもや病	21	2		2	25	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6				6
23	プリオン病	1	1			2	89	リンパ管筋腫症	1				1
26	HIV-1関連脊髄症	1				1	90	網膜色素変性症	45	3	2	5	55
28	全身性アミロイドーシス	3				3	93	原発性胆汁性胆管炎	12	2	2	3	19
34	神経線維腫症	4			1	5	94	原発性硬化性胆管炎	1				1
35	天疱瘡	7			1	8	95	自己免疫性肝炎	2				2
37	膿疱性乾癬（汎発型）	2				2	96	クローン病	78	3	1	7	89
40	高安静脈炎	5	1			6	97	潰瘍性大腸炎	178	13	5	20	216
41	巨細胞性動脈炎	1				1	111	先天性ミオパチー	1				1
42	結節性多発動脈炎	2		1		3	112	マリネスコ・シェーグレン症候群					0
43	顕微鏡的多発血管炎	14	2	2	1	19	113	筋ジストロフィー	9	3			12
44	多発血管炎性肉芽腫症	5				5	117	脊髄空洞症	1				1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3				3	118	脊髄髄膜瘤	1				1
46	悪性関節リウマチ	7				7	122	脳表ヘモジデリン沈着症	1				1
47	バージャー病	1			1	2	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1				1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1				1	162	顔面痲痺（後天性表皮水疱症を含む。）				1	1
49	全身性エリテマトーデス	101	3	5	7	116	220	急速進行性糸球体腎炎				1	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	36	3	1	2	42	222	一次性ネフローゼ症候群	6		1		7
51	全身性強皮症	42	2		9	53	224	紫斑病性腎炎			1		1
52	混合性結合組織病	12		2		14	225	先天性腎性尿崩症				1	1
53	シェーグレン症候群	6		1	2	9	257	肝型糖原病	1				1
54	成人スチル病	2				2	271	強直性脊椎炎	6			1	7
56	パーチェット病	19	3	2	7	31	283	後天性赤芽球病	1				1
57	特発性拡張型心筋症	28		2	1	31	296	胆道閉鎖症	1				1
58	肥大型心筋症	1	1		1	3	298	遺伝性聾炎				1	1
60	再生不良性貧血	8	1		1	10	300	I g G 4 関連疾患		1			1
63	特発性血小板減少性紫斑病	18	2	1	1	22	306	好酸球性副鼻腔炎	5				5
65	原発性免疫不全症候群	1				1							
66	Ig A 腎症	7	1	2	4	14							
								総計	1,222	90	51	172	1,535

(2) 難病対策地域協議会

関係機関が相互の連絡を図ることにより、地域における難病患者への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制整備について協議するために、足柄上センターと協議会を設置し、開催しました。

開催日	内 容	出席者数
H29. 6. 30	① 小田原保健福祉事務所・足柄上センター地域における難病患者に関わる災害対策の状況について ② 今後の取組み内容について	14
H29. 12. 19	① 小田原保健福祉事務所・足柄上センター地域における難病患者に関わる災害対策の状況について ② 過去の大規模災害時の難病患者の状況について ③ 神奈川県医療救護計画の改定について ④ 今後の取組み内容について	18
H30. 2. 8	① H28年度難病対策地域協議会で抽出された課題について ② 難病患者の災害対策について (・H29年度第1回部会、第2回部会の取組み状況 ・安否確認について)	24

(3) 難病患者地域支援ネットワーク事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、保健、医療及び福祉に関するつどい、相談指導等を実施するとともに、きめ細やかな支援の必要な難病患者に対し、関係機関との連携のもと適切な在宅療養支援を提供するための検討を行いました。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養支援計画策定・評価委員会

難病患者への保健福祉事業が円滑かつ効果的に行われるために、難病患者とその家族を取り巻く状況や課題等を把握検討し、管内の難病保健福祉ケアの向上を図りました。

- ・医療機器装着神経難病患者への支援計画の検討 (2名)

イ 難病講演会

開催日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
H29. 9. 21	潰瘍性大腸炎・クローン病の内科的治療 ～災害時や療養生活上の工夫～	小田原市立病院 医師 吉澤 繁氏 神奈川コロ ン潰瘍性大腸炎患者会 代表 花岡 隆夫氏	小田原合同庁舎	62

ウ 難病患者と家族のつどい(対象 全疾患)

開催日	内 容	担当者	会 場	参加人数
H29. 4. 18	健康相談、歌、体操、交流会他	当所保健師 ボランティア	小田原保健 福祉事務所	5
H29. 6. 20				9
H29. 7. 18				4
H29. 9. 19				5
H29.10. 17				5
H29.12. 19				6
H30. 2. 20				4
H30. 3. 20				7

エ リハビリ教室 (対象 パーキンソン病関連疾患)

開催日	内 容	講 師	会 場	参加人数
H29.10. 11	リハビリ教室	①社会福祉法人神奈川総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター 平田学氏 (理学療法士)	小田原保健福祉事務所	17
H29.11. 1		②神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション部 浅沼 満氏 (理学療法士) 10/11 ③神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション部 那須田 依子氏 (理学療法士) 11/1のみ		14

オ 訪問相談事業

訪問相談員として保健師、看護師を雇用し、要支援難病患者宅を訪問し、患者・家族の療養上の悩みに対して相談指導を実施し療養を支援しました。

実施回数	訪問		面接		電話	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
20	11	14	3	3	3	3

カ 保健師による家庭訪問・所内指導

家庭訪問

	神 経 系	膠 原 病	消化器系	血 液 系	免疫系	総 数
実人数	20	1			1	22
延人数	40	2			2	44

随時相談

面 接	電 話	その他	総 数	主 な 相 談 内 容 (延べ)					
				申 請	医 療	看 護	福 祉	その他	計
259	296	10	565	243		81	219	22	565

(4) 難病特別対策推進事業

ア 在宅神経難病患者緊急一時入院（平成17年4月より開始）

2次医療圏に1床、県域で8床、管内は箱根病院、足柄上病院に1床ずつ確保されています。医療依存度の高い神経難病患者等の介護者のレスパイトや介護困難時の一時入院受け入れに伴う申請受付と療養相談を行いました。

<利用者の状況> 利用回数 12件（実利用者数 6名） 申請数 12件（H30年度利用件数含む）

利用者	利用月	疾患	医療機器	性別	理由	期間	受入病院
A	H29. 6 H29. 10	脊髄小脳変性症	吸引器、膀胱留置カテーテル	女性	介護疲労	15日間 13日間	神奈川 リハビリテーション 病院
B	H29. 6～7 H30. 1	脊髄小脳変性症	人工肛門	女性	介護疲労	12日間 6日間	箱根病院
C	H29. 6 H29. 9 H30. 1	多系統萎縮症	吸引器、胃ろう、膀胱留置カテーテル、気管切開	女性	介護疲労	12日間 10日間 6日間	足柄上病院
D	H29. 6 H29. 11	パーキンソン病	吸引器、胃ろう	男性	介護疲労	12日間 12日間	足柄上病院
E	H29. 10～11	多発性筋炎	吸引、胃ろう、気管切開	女性	介護疲労	8日間 11日間	足柄上病院
F	H29. 4 H29. 11	パーキンソン病	なし	男性	介護疲労	12日間	箱根病院

イ 在宅難病患者保健福祉従事者等研修会

地域で難病患者に関わっている支援者（ケアマネジャー、介護ヘルパー、サービス提供責任者、訪問看護師、地域包括支援センター職員、行政保健師等）を対象に、個別事例や地域での支援課題をテーマにスキルアップを目的に実施しました。

開催日	テーマ	講師	会場	参加人数
H29. 10. 24	難病患者支援のためのこころのケア講座	① 上智大学総合人間科学部 看護学科 教授 小長谷 百絵氏 ② 東京女子医科大学看護学部 准教授 原 三紀子氏 ③ 日本ALS協会神奈川県支部 村松 敬章 氏	小田原合同庁舎	44

5 肝疾患対策

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、定例相談、検査を実施しました。

(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎・B型肝炎ウイルス検査実施状況

定例相談				受診券発行
実施回数	検査人数	検査内容		
		HCV抗体	HBs抗原	
3	5	5	5	1

(2) 肝炎治療医療費助成制度

平成20年4月からインターフェロン治療に対する医療費助成制度が開始され、B型肝炎の治療として平成22年4月から核酸アナログ製剤治療が助成の対象となりました。また、C型肝炎の治療として平成24年1月からインターフェロン及び内服薬による3剤併用療法が、更に平成26年9月からインターフェロンフリー治療が医療費助成の対象となりました。

区分	申請者数	
インターフェロン治療	0	
核酸アナログ製剤治療	新規	5
	更新	95
インターフェロンフリー治療	54	
3剤併用療法	0	

6 原爆被爆者援護

(1) 原爆被爆者健康管理事業

ア 被爆者健康手帳等交付状況

	H30.3月末現在 手帳保有者	新規申請
総 数	132	2
被 爆 者 健 康 手 帳	60	
第1種健康診断受診者証		
第2種健康診断受診者証		
被爆者のこども受診者証	72	2

イ 被爆者健康診断実施状況

	受診者				要精検者	要治療	
	総 数	被爆者	第1・2種	被爆者の こども			
平成28年度	18	12	0	6	11	0	
平成29年度	総 数	18	12	0	6	11	0
	第1回 5月	5	4		1	4	
	第2回 11月	6	2		4	4	

7 骨髄ドナー登録

白血病、重症再生不良性貧血等の患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄移植推進財団を中心に骨髄バンク事業が実施されていますが、平成7年度から骨髄提供希望者のより一層の確保を図るため、県域では、小田原保健福祉事務所、厚木保健福祉事務所大和センターの2か所が登録受付業務を実施しています。

(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況

	27年度	28年度	29年度
総 数	0	4	1
男			
女		4	1

(2) 骨髄バンクの状況

	全 国	神奈川県
提供希望者（ドナー）登録者数	483,879	20,890
移植希望者登録者数	3,762	71
骨髄移植例数（累計）	21,885	1,192

※骨髄移植推進財団日本骨髄バンク 骨髄バンクデータ集資料より 平成30年3月31日現在

8 認知症疾患対策

(1) 認知症疾患相談

ア 定例相談

認知症が疑われるが受診に結びつかない対象者に対し、健康相談として精神科医と訪問ができる貴重な場面にもなっています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法 (延数)			相談内容 (延数)				
		訪問	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療	入 院	看 護 介 護
12	12	9	3		11	11	11		
					介護者 の問題	介護保 険サービス	その他 の制度	介護者 の支援	その他
					10	7	7	11	

イ 随時相談

若年性認知症や独居など処遇困難な事例が増えており、市町や地域包括支援センターからの相談が増えています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法 (延数)			相談内容 (延数)				
		電話	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療	入 院	看 護 介 護
63	168	143	17	8	94	48	44	10	21
					介護者 の問題	介護保 険サービス	その他 の制度	介護者 の支援	その他
					5	3		41	29

(2) 認知症疾患訪問指導

	訪 問 数						年 齢 別 (実数)					
	男		女		総数		60歳 未満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	総数
	実数	延数	実数	延数	実数	延数						
件数	4	8	6	8	10	16		6	1	3		10

(3) 処遇困難事例検討事業

一般住民や、地域で認知症患者に関わっている支援者が開催する事例検討会に参加しました

ア 処遇困難事例検討

開催日	出席者	講師	会場	参加者
H29. 8. 1	地域包括支援センター、市高齢介護課、市生活援護課、民生委員、友人、当所職員(保健師)	なし	地域包括支援センター	6
H30. 3. 19	地域包括支援センター、市高齢介護課、警察、交番、主任相談員、民生委員、自治会長、被害者、当所職員(ケースワーカー)	なし	浜町公民館	12

イ 認知症患者家族の交流会（おだわら家族会）

認知症の方を介護する家族、認知症サポーターや介護ボランティア、関係職員を対象に、ピアカウンセリングの場として、小田原市と共催で家族交流会を実施しました。

開催日	内 容	参加者数
H29. 4. 21	交流会	23
H29. 5. 19	交流会	20
H29. 6. 16	交流会	17
H29. 7. 21	医師を囲んで交流会 講師 ひまわりメンタルクリニック院長 小林 博子 氏	23
H29. 8. 18	交流会	19
H29. 9. 15	交流会	18
H29. 10. 20	交流会	16
H29. 11. 17	交流会	13
H29. 12. 15	クリスマス会	17
H30. 1. 19	交流会	17
H30. 2. 16	交流会	17
H30. 3. 16	交流会	14

エ 認知症患者家族の交流会（ゆがわら・まなづる家族会）

真鶴町・湯河原町で開催した、認知症患者家族の交流会へ支援を行いました。

開催日	内 容	参加者数
H29. 5. 12	交流、情報交換会	8
H30. 7. 14	交流、情報交換会	14
H29. 9. 8	交流、情報交換会	14
H29. 11. 10	交流、情報交換会	10
H30. 3. 9	交流、情報交換会	14

オ 関係機関との連携

（ア）小田原市初期集中支援事業チーム員会議との連携

小田原市で開催している初期集中支援事業チーム員会議へ出席しました。

回数	6回（うち1回欠席）
検討件数 （相談含む）	15件

(イ) 認知症をにんちしよう会との連携

保健・医療・福祉の関係団体と行政で構成され、小田原市が事務局の「認知症をにんちしよう会」に構成機関として参画し、活動しました。

開催日	内 容	会 場	参加者
H29. 5. 21	認知症シンポジウム ～認知症の方が住みやすい まちづくりを目指して!～	小田原市民会館	延 304
H29. 6. 19	第1回 認知症をにんちしよう会実行委員会	おだわら総合 医療福祉会館	
H29. 8. 24	第2回 認知症をにんちしよう会実行委員会	小田原市役所	
H29. 11. 20	第3回 認知症をにんちしよう会実行委員会	小田原市 生涯学習センター	
H29. 11. 20	認知症をにんちしよう会イベント	ハルネ小田原 うめまる広場	延 1,748
H30. 1. 16	第4回 認知症をにんちしよう会実行委員会	小田原市 生涯学習センター	

(4) 若年性認知症対策事業

若年性認知症について、一般住民への普及啓発のためのシンポジウムを開催し、地域で認知症患者に関わっている支援者を対象にした研修会（若年性認知症支援コーディネーター設置事業）に共催しました。

開催日	内 容	講 師	会 場	対 象	参加者数
H29. 11. 27	若年性認知症 シンポジウム ～若年性認知症の人に やさしいまち、 かながわを目指して～	ひまわりメンタルクリニック 院長 小林 博子 氏 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科 教授 吉村恵美子 氏 講師 山田 智美 氏 若年性認知症支援 コーディネーター 田中 香枝 氏	小田原 合同 庁舎	一般住民 患者家族 支援者 関係機関 職員等	38
H30. 1. 22	若年性認知症を知る ～若年性認知症～ 早期介入のための 気づき	曾我病院精神科医 早川 典義 氏 県高齢福祉課技幹 若年性認知症支援 コーディネーター 田中 香枝 氏	小田原 合同 庁舎	医療・保健 福祉・介護の 関係者 職域関係者	49

(5) 介護予防・認知症予防支援事業

介護予防・認知症予防を目的に、コグニサイズの普及啓発を行いました。

回数	参加者
2回	73名

(6) 徘徊SOSネットワーク事業

徘徊する方の安全を守るため、事前登録、捜索保護の窓口を担う市町及び県庁と連絡調整を行いました。

ア 市町別徘徊SOSネットワーク事前登録状況

事前登録数	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
126 (37)	109 (32)	6 (4)	2	7 (3)

※()内は、H29年度新規登録数

イ ネットワーク実施状況

捜索依頼件数	発見者数 (未発見者数)	保護件数	身元判明件数
1	0 (1)	0	0

ウ 徘徊SOSネットワーク担当者会議

開催日	内 容	出席者
H29. 9. 11	① 平成28年度 徘徊SOSネットワーク実績 ② 徘徊SOSネットワークの現状	13

(7) その他

ア 認知症疾患医療センターとの連携

認知症疾患医療センターである曾我病院との地域医療連携強化に努めました。

開催日	内 容
H29. 9. 6	第1回 県西地区認知症疾患医療連携協議会への出席
H29. 12. 13	認知症疾患医療センターの事業評価への出席
H30. 3. 7	第2回 県西地区認知症疾患医療連携協議会への出席

9 精神保健福祉対策

地域における精神保健及び精神障害者の福祉のニーズは年々高まる中で、当所では精神疾患の早期発見、早期治療、再発防止に努めるとともに、精神障害者の社会復帰のための援助を行いました。また、メンタルヘルスの推進を目的に普及啓発活動を行いました。

(1) 会議

保健福祉事務所管内における関係機関・団体等の連携により行われる各種保健・福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、関係機関で構成する会議を開催しました。

地域精神保健福祉連絡協議会

開催日	構 成 員	内 容	出席者数
H30. 1. 30	精神科医療機関 社会復帰関係機関 家族会 相談支援事業者 市町担当課 市町社会福祉協議会 精神保健福祉センター 保健福祉事務所	① 地域精神保健福祉連絡協議会要領改正について ② 措置入院者等の退院支援について ③ 長期入院精神障害者にも対応した地域移行・地域定着支援の取組みについて ④ 平成29年度の主な取組みと今後の予定について ⑤ その他	23

(2) 精神保健福祉業務統計

精神保健福祉相談・訪問指導

ア 把握区分

	実人数	延人数
相 談	256(187)	1,192
訪問指導	25(18)	118

※ () 内は、保健所把握新ケース (内数)

イ 相談性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	127	124	5		14	31	34	42	43	23	27	42
延人数	514	672	6		39	112	76	388	352	91	71	63

ウ 訪問指導性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	15	10		1		3	4	5	6	1	5	
延人数	58	60		1	2	10	12	38	26	16	12	1

エ 相談・訪問契機

	実人数	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	256	27	19	86	48	76
訪問	25	1		3	2	19

オ 相談種別

	実人数	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	256	120	78	10	21	38
訪問指導	25	4	19		1	1

カ 診断名

	実人数	統合失調症	気分(感情)障害	てんかん	器質性精神障害	中毒性精神障害		神経症	その他の精神障害	診断保留	精神障害と認めず	その他
						アルコール	覚せい剤・他					
相談	256	71	23	1	5	17	5	16	48	4	1	68
訪問指導	25	6	5			1	2	1	4	1	2	4

キ 相談者

	総数	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	1,247	478	263	186	148	172
訪問指導	257	85	56	37	28	51

ク 担当者別相談回数

	総数	医師	福祉職	保健師	その他
相談	1,249	48	1,183	9	9
訪問指導	152	26	117	3	6

(3) 普及啓発

ア 精神保健福祉講演会

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H29. 8. 28	統合失調症を知ろう ～よくある症状と今の治療～	国府津病院 紺屋 勇人氏	行政及び関係機関職員 一般県民	61

イ ひきこもり関連事業・家族セミナー等

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H29. 10. 5	ひきこもりの理解と対応 ～不登校・ひきこもり体験者の体験談～	県立青少年センターNPO相談・支援アドバイザー 瀧口 佳孝氏 ひきこもり体験者	家族、当事者、支援者等	17
H29. 10. 20	ひきこもりの理解と対応 ～支援の現場から考える～	NPO法人子どもと生活文化協会顧問 和田 重宏氏	家族、当事者、支援者等	35
H29. 10. 27	親亡き後の生活を考える	ファイナンシャルプランナー 井上 康子氏	家族、当事者、支援者等	35

(4) 団体支援

精神保健福祉関係団体への支援

	援 助 内 容	援助回数
精 神 障 害 者 家 族 会	総会に参加	1
断 酒 会 、 A A	酒害相談研修会に出席、会場手続き等	13
地域活動支援センターⅢ型支援	総会・地域ネットワーク会議参加	2

(5) 家族支援

ア 精神障害者(主に統合失調症)の家族教室

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H29. 9. 8	統合失調症の理解と治療	曾我病院 伊藤 瑞穂氏	統合失調症患者の家族	13
H29. 9. 15	家族の体験談	小田原地区精神保健福祉社会梅の会	統合失調症患者の家族	15
H29. 9. 22	障害福祉の制度・サービスについて わたしたちの生活	小田原障がい福祉課 職員 当事者の方	統合失調症患者の家族	9

(6) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく一般からの申請(法22条)・警察官通報(法23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

	件数	指定医療診察結果				病院紹介	診察立会い (内数)	不実施
		要措置	不要措置					
			入院	入院外	医療不要			
22条	0							
23条	48	23	11	6			8	

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法38条の6)

(ア) 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

精神科病院におけるより良い医療の提供と適正な管理運営に資するため、管内2病院に対し、実地に実態を把握し、必要な指導を行いました。

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査(措置入院者等に対する精神保健指定医の診察)

施設数	審査結果					
	措置入院			医療保護入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2	1			10		

ウ その他の医療保護事務

	延件数
入院届	473
応急入院届	2
退院届	480
定期病状報告	196
措置定期病状報告	1

(7) 自殺対策事業

管内関係機関職員(管内一市三町の自殺対策担当者、救急隊、医療機関、警察等)を対象に、自殺の実態について共通認識を図り、担当者会議と自殺防止のための人材を養成するため研修会を開催しました。

ア 会議

実施日	内容	対象	参加者数
H29. 7. 20	① 県及び精神保健福祉センターからの情報提供 ② 各機関における今までの自殺対策の取組み実績について ③ 各機関の今後の自殺対策の取組みについて ④ 情報交換 ⑤ その他	行政及び関係機関職員	18

イ 研修会

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H29. 7. 20	生きる支援 ～お坊さんからのメッセージ～	自死・自殺に向き合う僧侶の会共同代表 臨濟宗独園寺住職 藤尾 聡允氏	行政及び関係機関職員 民生委員、地域包括支援センター等	54

(8) その他

ア 地域移行、地域定着支援推進にむけた取組み（地域につなげようプロジェクトへの協力）

神奈川県精神保健福祉センターの平成28年度、29年度の調査研究（通称：地域につなげようプロジェクト）に県西障害保健福祉圏域がモデル地域として協力し、関係機関とともに会議、部会に参加しました。地域医療機関の協力の下で医療機関まで出向き、1年以上の長期入院者について患者の状況についての実態調査等を行いました。

開催日	内 容
H29. 6. 12	第1回県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議への出席
H29. 9. 27	第2回県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議への出席 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業研修会への出席
H29. 11. 8	県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議 第2回部会への出席
H30. 2. 14	第3回県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議への出席

イ 小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会 精神部会の立ち上げに協力

地域課題の抽出と検討を行うため、精神障害者地域生活支援部会の設立に協力しました。

開催日	内 容
H29. 11. 2	小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会精神部会への出席
H30. 3. 15	小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会地域生活支援部会への出席

ウ 小田原市地域交流事業(ハートフェスタ)への協力

小田原市内の保健・医療・福祉の関係団体と行政から構成され、小田原市が事務局となっている小田原市地域交流事業に構成機関として参加しました。

開催日	内 容	会場
H29. 7. 13	第1回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎
H29. 8. 24	第2回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎
H29. 10. 4	第3回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎
H29. 11. 17	第4回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎
H29. 12. 13	第5回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎
H30. 1. 15	第6回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎
H30. 1. 27	おだわらハートフェスタ in HaRuNe 開催	ハルネ
H30. 2. 9	第7回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎
H30. 2. 16	おだわらハートフェスタ 開催	ダイナシテイ
H30. 3. 15	第8回地域交流事業実行委員会に参加	小田原合同庁舎